

# 県の多文化共生にむけた取り組み

福井県 産業労働部 国際経済課



# 福井県における外国人住民数の概況

# 福井県における外国人住民数の概況(令和6年12月末)

福井県の外国人住民者数: **19,122人**(総人口に占める割合:2.59%)

過去最高数

## 国・地域別(上位10か国)

## 在留資格別

## 市町別

ブラジル	4,504人	32.1%
ベトナム	3,896人	9.3%
フィリピン	2,306人	10.2%
韓国・朝鮮	1,949人	△2.8%
中国	1,944人	△3.6%
インドネシア	1,283人	32.8%
ミャンマー	926人	60.2%
ネパール	408人	11.2%
タイ	405人	26.9%
カンボジア	334人	△2.1%

技能実習	5,009人	8.7%
永住者	4,166人	3.9%
定住者	2,696人	45.4%
特定技能	1,581人	33.8%
特別永住者	1,528人	△3.4%
技術・人文知識・国際業務	961人	24.6%
日本人の配偶者等	901人	14.1%
留学	882人	11.6%
家族滞在	459人	22.7%
特定活動	276人	16.5%

越前市	5,622人	14.1%
福井市	5,595人	7.9%
坂井市	1,957人	5.6%
敦賀市	1,355人	14.8%
鯖江市	1,192人	16.2%
あわら市	699人	16.3%
大野市	631人	7.5%
小浜市	507人	8.66%
勝山市	385人	13.6%
越前町	309人	△6.8%

前年比増(青色) 前年比減(赤色)

     身分・地位に基づく在留資格

出典: 福井県「福井県内在住外国人の概況」、同「福井県外国人住民調査票」

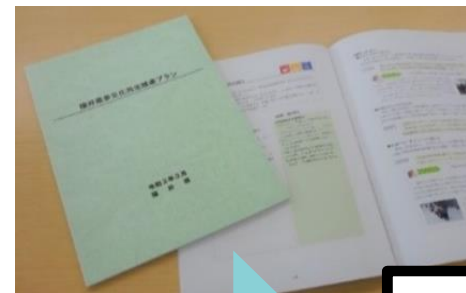
## 令和7年度の主な取り組み

- 福井県多文化共生推進プラン改定
- ふくい外国人相談センターの体制強化

# 福井県多文化共生推進プラン改定

## 計画期間 令和3年度～7年度

ふくいに暮らす人々が、国籍に関わらず、地域社会の一員として多様な個性や価値観を互いに尊重し、交流を拡大することにより、日本人にとっても外国人にとっても、住み続けたいと思える、ポストコロナ時代において世界から選ばれる「多文化共生先進地ふくい」を実現する。



### I みんなが暮らしやすい「安心共生社会」の実現

日本語教育、相談体制の強化、防災分野の支援体制強化、医療・福祉分野の支援充実

### II 一人ひとりが地域の担い手「活躍共生社会」の実現

相互理解の促進、外国人県民の地域交流の拡大

### III 世界から選ばれる「共生先進モデル」の実現

留学生の受入れ・定着支援、世界への発信強化と交流人口の拡大 等

みんなが暮らしやすい街

# ふくい多文化共生推進プラン 結果

	指標	策定時 (2020年)	目標 (2025年)	現状 (2024年)
基本目標 Ⅰ	県内で活躍する日本語ボランティア数	228人	300人	230人
	SNSを活用した避難所等の情報発信対応可能数	—	13か国語	13か国語
基本目標 Ⅱ	ふくい外国人コミュニティリーダー認定数	32人	60人	82人
	多文化共生や外国人支援に取り組む団体への応援件数	—	10団体	10団体
基本目標 Ⅲ	県の支援により県内企業に就職した留学生数	75人 (累計)	150人	68人 (~2023年)
	海外教育機関で育成し県内施設に就職した 外国人介護人材数	—	60人(累計)	65人 (累計見込み)



計画期間: 令和8年4月～令和13年3月(5年間)

## 福井県の抱える課題

外国人材獲得競争・  
流出への懸念

地域社会との  
相互理解・交流機会不足

総合的な  
地域日本語教育体制の  
未整備

対応方針

## ライフサイクルに沿った施策の展開

- 生活、労働、災害など様々な情報を提供し、**伴走支援を行う相談体制の構築**
- 地域との相互交流や、担い手として活躍できる機会の提供
- 地域日本語教育の総合的な体制整備



# ふくい外国人相談センターの体制強化

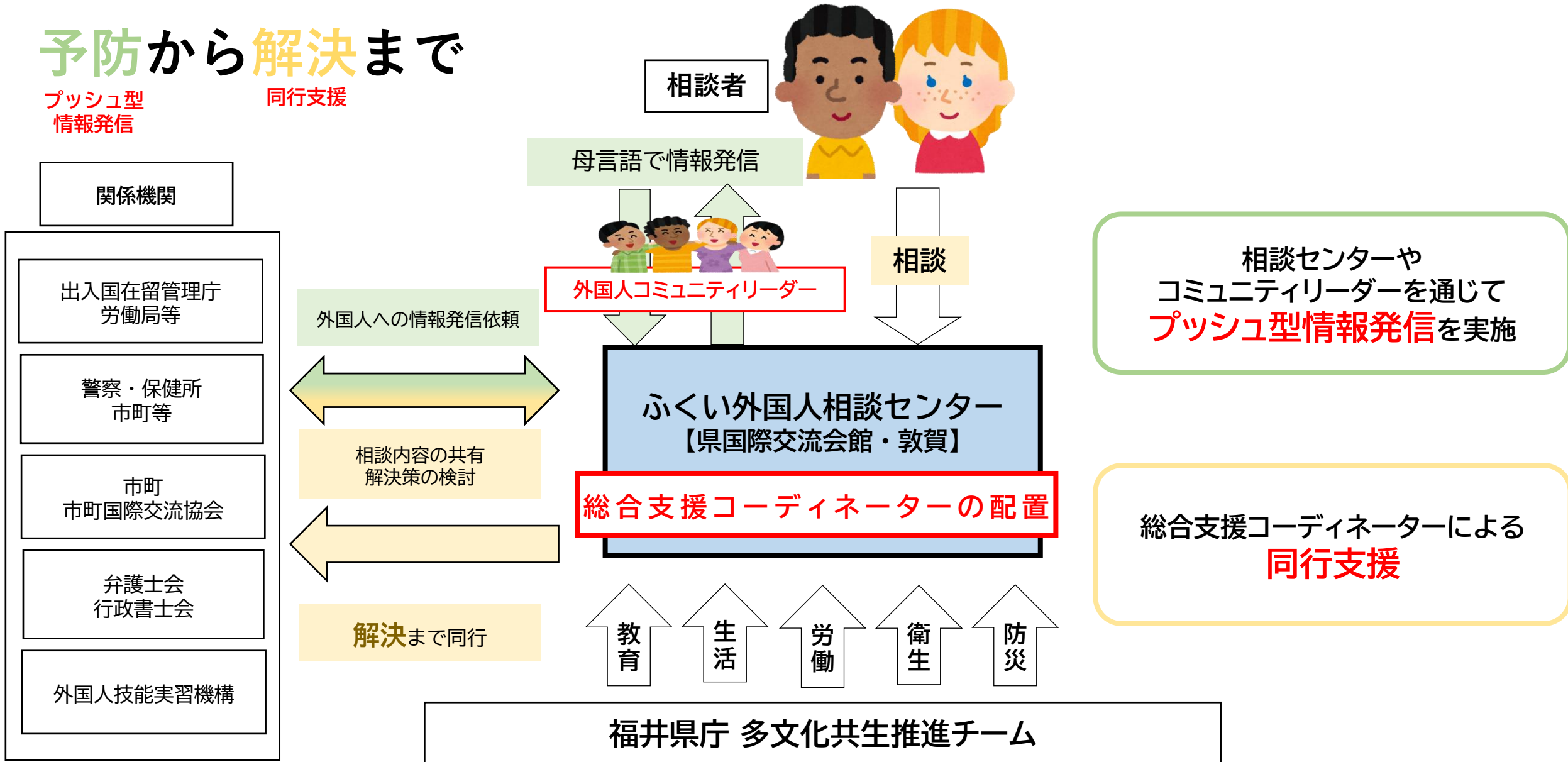


# ふくい外国人相談センターの強化

## 予防から解決まで

プッシュ型  
情報発信

同行支援



ご清聴ありがとうございました